

# ひこねっこ ころそだての6か条

い

いいんだよ ありのままで！

★子どもは、大人の温かい関わりに安心や信頼を感じます。話をじっくり聞くこと、ありのままを認めることが大切です。

い

いっほ  
一歩ふみだし やってみよう！

★「まず、やってみよう！」「なんとかなるよ！」と応援しましょう。小さな成功体験や失敗から学ぶ経験の積み重ねが、子どもの力を伸ばします。

な

なぜ？どうして？は <sup>まな</sup> 学びのチャンス☆

★子どもの疑問に寄り添い、「～したい！」という気持ちを大事にして、探究心をはぐくみましょう。

お

おも <sup>こころ</sup>  
思いやりの心で つながろう！

★「自分なら…」「自分がされたら…」と一緒に考えながら、相手の気持ちを思いやる大切さを、子どもの心に届けましょう。

す

すこ <sup>じぶん</sup>  
少しのがまん 自分のために☆

★目標達成に向けて、一緒に「計画をたてる」「ルールを決める」などして、時には我慢も必要なことに気づかせながら、自分で判断し行動できる力を育てましょう。

け

げんき <sup>ゆめ む</sup>  
元気にチャレンジ 夢に向かって☆

★結果のみに注目したり他者と比べたりするのではなく、がんばりや成長をほめて励ますことが、子どもの次のやる気につながります。

## 井伊直弼 公(いなおすけ こう)と彦根市(ひこねし)

江戸時代末期、時代の流れを見ながら日本のかじ取りを行った彦根の殿様です。江戸幕府の大老という大切な職について直弼公は、鎖国中の日本において、外国の優れた技術などを取り入れて国力を高めるといふ、これからの進むべき道を理解し、開国を進めるために一生懸命尽くしました。それが、今の日本の繁栄につながっていることから、直弼公は、日本の未来を切り開いた彦根の偉人といえるでしょう。

彦根市教育委員会では、変化の激しい時代を生きるうえで必要な資質・能力を、子どもたちが身に付けるために「ひこねっこ ころそだての6か条」を提言し、皆様とともに「はぐくんでいきたい」と考えています。

